比較文化演習 I

科目ナンバリング SEM-313
選択必修 2単位

藤田 敏明

1. 授業の概要(ねらい)

世界中の文化にある「恋愛悲劇」を考察する。社いくスピアの「ロミオとジュリエット」をメインテキストとし、そこから、バレエ版、ミュージカル版、と広げ、さらに、類似する主題のオペラ、歌舞伎、等を考え、後半は、学生諸君によるプレゼンテーションで、各自、独自の「恋愛悲劇」の在り方を考えてほしい。

2. 授業の到達目標

対象作品の理解はもちろんのことだが、単独に作品を「知る」だけでなく、そこに普遍的にある「人間の感性、心理状態の普遍性」をも理解すること。さらには、それを通じて、「自分が今までに知っている狭い範囲の知識」ではなく、「より広い視野」「自分自身(自国文化)を相対化した、比較文化的感覚」を身に着けることそしてそれを「自分自身の言葉でレポートとしてプレゼンテーションあるいは表現できること。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の授業最後の小レポートにおける、「授業内容理解」五割、および、プレゼンテーションの状況と期末レポートが五割。ただし、プレゼンテーションとレポートは必須。

4. 教科書・参考文献

教科書

シェイクスピア 『ロミオとジュリエット』 ちくま文庫

参考文献

その他の作品については、随時、教員からハンドアウトを配布する。

5. 準備学修の内容

授業開始までに、欧米文化についての常識的な知識は身につけておくこと。毎回の授業ごとに、前回の授業内容についての自己の理解を確認すること。自分の過去に知識との比較において、どういう「新たな知識」があったかを確認すること。

6. その他履修上の注意事項

知識を身に着ける、ということではなく、自分の頭脳で考えること、それを、借り物ではなく自分自身の言葉で表現すること。

7. 授業内容

【第1回】 イントロダクション。授業の全体像。シェイクスピア『ロミオとジュリエット』の紹介と、一部作品内容理解。第1幕。テキストおよび映像

【第2回】 第2、第3幕。

【第3回】 第4,5幕。

【第4回】 ミュージカル『ウエストサイドストーリー』前半

【第5回】

後半

【第6回】 バレエ版「ロミオとジュリエット」前半

【第7回】 後半

【第8回】 オペラ「ルチア」前半

【第9回】 後半

【第10回】 歌舞伎「曾根崎心中」前半

【第11回】 後半

【第12回】 学生のプレゼンテーション。三名——四名

【第13回】 プレゼンテーション。三名——四名

【第14回】 プレゼンテーション。三名——四名

【第15回】 プレゼンテーション。三名——四名